



Ki ga Furete vol. 2

— Mad for Trees —

きが
ふ
れ
て

日高理恵子
安喜万佐子
山部泰司

vol. 2

きがふれて vol. 2

秋岡美帆・稲垣貴士・日高理恵子の三人の出品者で「きがふれて」と云うタイトルのもと展覧会が開かれたのは1992年であった。

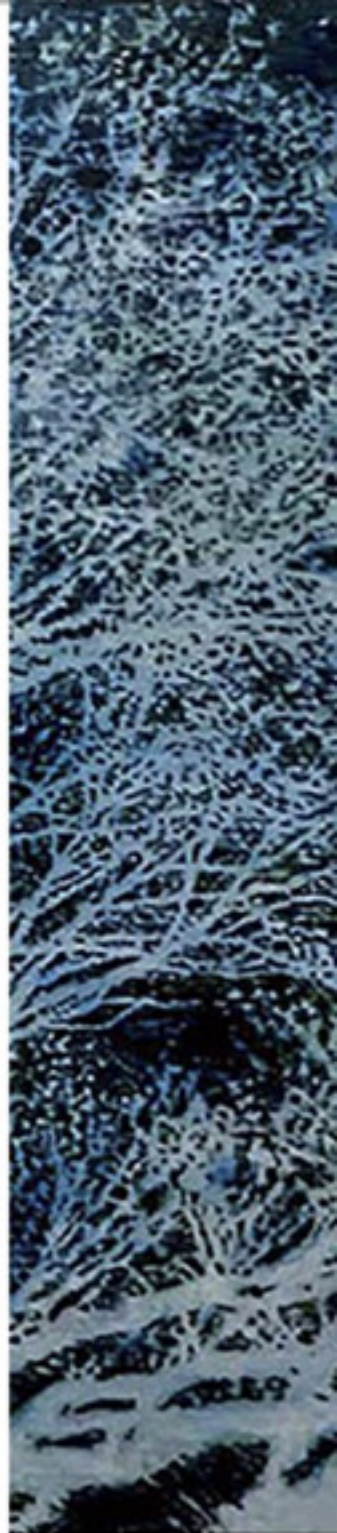
当時、存命中のN氏は美術館に在籍していて、ギャラリー16がオープンした頃から殆どの展覧会を観てくれている人だった。

その彼から上述の三人の作家に「きがふれて」と云うタイトルを添えて、これは画廊に提供するので展覧会をすればという申し出を受けた。三人の作家の作品から推して「きがふれて」の「き」は勿論「樹」のことで、もう一つの「き」は「気」を当てはめるといふ彼独特のシニカルなタイトルを私は結構気に入っていた。

今回、安喜万佐子、山部泰司、日高理恵子の三人の作家の出品で「きがふれて vol. 2」として展覧会を開催する事になった。

N氏による1回目の展覧会から30年も経過した今、天にいる彼が云うのは「また、きがふれた画廊だなあ」と云う事だろう。

ギャラリー16 井上道子



2022年1月15日(土) - 2月3日(木)

12:00 - 18:00 / 月曜・休

※会期に変更が生じる場合がありますので、HP等で最新情報をご確認ください。

galerie 16

〒605-0021 京都市東山区三条通
白川橋上ル石泉院町 394, 3F
TEL. 075-751-9238
e-mail info@art16.net
HP www.art16.net



地下鉄東西線：[東山] 1番出口北へ徒歩1分 / 市バス：[東山三条] より東へ徒歩2分
Subway: To-zai Line [Higashiyama Stn.] Exit 1 / Buses: [Higashiyama Sanjo]



《空との距離Ⅷ》 8 200 × 200 cm (3点組) 2010

1985 武蔵野美術大学大学院造形研究科美術専攻修了 / 1995-96 文化庁芸術家在外研修員としてドイツ滞在 (クンストアカデミー・ミュンスターに在籍)

1990 個展「日高理恵子展」(ギャラリー16・京都) (2002-2004-2010-2011) / 1998 個展「近作展 22 日高理恵子」(国立国際美術館・大阪) / 2003 個展「The Space of Trees」(アートカイトミュージアム・デットモルト・ドイツ) / 2005 「CHIKAKU: Time and Memory in Japan」(クンストハウス・グラーツ & カメラ・オーストリア / ビーゴ現代美術館・スペイン / 川崎市岡本太郎美術館・神奈川) / 2017 個展「空と樹と」(ヴァンジ彫刻庭園美術館・静岡) / 2020 「DOMANI・明日 2020-備った風景の向こうに」(国立新美術館・東京) ほか



1994 京都精華大学大学院美術研究科修士課程修了
2015 米国スミス大学 滞在研究員 (文化庁新進芸術家海外派遣)
2020 英国ロンドン芸術大学 訪問作家

1999 / 2002 「VOCA 展」(上野の森美術館・東京)
2004 「Confronting Tradition」(Smith College 美術館・米国)
2005 「City-net Asia」(ソウル市美術館・韓国)
2013 「Inverse Perspective Project」モスクワビエンナーレ
特別プロジェクト (モスクワ現代史博物館・ロシア)
2020 個展「Chaos from Order - 時の崖」(京都場)
+ 「Order from Chaos - 朝日の地盤」(ギャラリー16・京都)
ほか

《shadow scape - forest west, lightning east》 160 × 255 cm 2017-2018

1993 京都市立芸術大学大学院美術研究科修了

1996 「アート・ナウ'96」(兵庫県立近代美術館)
1997 「VOCA 展」(上野の森美術館・東京)
2015 「FLOW 水は何をつなぎ、何処へ行くのか」(京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA・京都)
2016 個展「山部泰司展 ~ここから始まる風景画~」(京都市現代美術館・岡山)
2018 「生きてゐる山水 瀧山をのぞむ古今のまなざし」(岡山県立美術館)
2020 「ドローイングの可能性」(東京都現代美術館) ほか

